



TSUNAGU

- 小から中への滑らかな接続にむけて -

令和7年11月7日

我孫子市小中一貫教育だより
第382号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなきちさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子どもも
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子どもも
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子どもも



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

小中一貫オリジナルカリキュラム授業実践の様子を紹介するうな～！

「命でつなぐ我孫子カリキュラム」～谷津ミュージアム～

我孫子第二小学校の1年生で Abi-ふるさとの授業がありました。学校の地域にある「岡発戸・都部 谷津ミュージアム」についての学習です。

初めに、衛星写真を使って学校の周辺について確認しました。校舎、校庭、週末に校外学習で行く予定の湖北台中央公園、そしてその途中に現れるのが谷津ミュージアムです。谷津がどんなところなのか、市のホームページの写真や、先生が入手してきたパンフレットで学びました。「ホタルがいるよ。」「カブトムシやクワガタムシもいるね。」「きれいな花や生き物がたくさんいるね。」と目を輝かせていました。

次に、学習して分かったことを、ワークシートにまとめ、友達と共有しました。さらに、友達がどんなことがわかったか、クラスのみんなに紹介しました。「○○さんは、谷津でお米を育てていることがわかったそうです。」「○○君は、生き物が暮らしやすいように谷津をきれいにしている人がいるということがわかったそうです。」など、紹介する側は一生懸命に伝え、紹介される側は照れながらも嬉しそうにしていました。

最後に、谷津ミュージアムのパンフレットからさがしたいもの、やってみたいことを考え、ワークシートにまとめました。「ニホンノウサギ見られるかな。」「ホタル見てみたいな。」「カブトムシ捕まえたいな。」など、自分の興味があるもの、好きなものを友達と伝え合いながら考え、文字やイラストでまとめました。自分の生活する地域に自然を味わえる素晴らしい場所があり、これから地域と関わり合いながら学習を進めていくことに期待があふれる学習でした。



「湖北台未来へつなぐプロジェクト」～農家の学習～

湖北台西小学校3年生社会科で、Abi-キャリアの授業が行われました。我孫子市の農家の学習を踏まえて、学区内の農家の仕事について見学を通して学びを深めることが目的です。

見学に訪れた農家はベジライフの香取さんです。温かく迎え入れてくださいり、始めに作っている野菜を見せてくださいました。かぼちゃやズッキーニ、枝豆など馴染みのある野菜から、空心菜や万願寺唐辛子など珍しい野菜まで、常に10～15種類を栽培していると教えてくれました。

次に畑を見学させていただきました。実際にどうやって野菜がなっているのか、野菜によって実や葉、根っこなど食べる部分が違うことを見て学びました。ビニールハウスでは、冬野菜の準備をしていたり、飼っているポニーの糞や鶏糞、海藻などを肥料として使ったり、様々な工夫をしていることが分かりました。鍬で土を耕す体験もさせていただき、子どもたちは貴重な体験ができました。



最後に農家の香取さんにたくさんの質問をし、「忙しい時期はいつか。」「朝早くから仕事をしているか。」「大変なことは何か。」「香取さんの夢は何か。」など、仕事の内容以外にも「働くこと」について迫る質問をする子どもたちもいました。身近で働く人の姿や話を聞くことを通して、子どもたち自身のキャリア形成につながっていくことが感じられる実践となりました。